

第79回 浜松医科大学眼科症例検討会プログラム

(認定事業 No.02404)

日時：令和2年7月4日(土)、17:00~19:30

場所：浜松医科大学臨床講義棟・大講義室

症例検討会 17:00~18:30

1. 術中調節系法で下直筋後転鼻側移動術にファーデン法を併用した1例(33歳男性)
○荒川あかり、古森美和、鈴木寛子、彦谷明子、堀田喜裕、佐藤美保(浜松医大)
2. 眼球運動障害を初発として脳腫瘍の診断に至った2例(4歳男児、8歳男児)
○山田亮佑、古森美和、鈴木寛子、彦谷明子、堀田喜裕、佐藤美保(浜松医大)
3. 外傷性角膜穿孔に対してパーフルオロカーボン短期留置を行った1例(40歳男性)
○三川由季乃、上田将弘、藤田太一、瀧伶、宮道大督(聖隷三方原病院)
4. 白内障手術後に色視症を訴え対応に苦慮した症例(52歳男性)
○水野文博、山崎智幸、磯貝正智(浜松医療センター)
5. 多焦点眼内レンズが挿入され満足が得られなかった1例(85歳男性)
○高山理和、野嶋計寿、堀田喜裕(浜松医大)
6. PDE6A 遺伝子変異による網膜色素変性症の1例(67歳女性)
○藤井爽平、倉田健太郎、細野克博、堀田喜裕(浜松医大)
7. 増殖糖尿病網膜症の硝子体手術後に傍中心窩急性中間層黄斑症を生じた1例(49歳女性)
○田中彩乃(富士宮市立病院) 倉田健太郎、山崎智幸、堀田喜裕(浜松医大)
8. できるなら なるべくやろう この手術
立花信貴(浜松医大)

特別講演 18:30~19:30 三重大学医学部教授 近藤 峰生 先生
「網膜・硝子体分野の話題：2020」

スライドは1面です(デジタルプレゼンテーション)

実務担当者

〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20-1

浜松医科大学眼科 堀田 喜裕

TEL:053-435-2256 FAX:053-435-2372

E-メール:hotta@hama-med.ac.jp